

地 球 温 暖 化 対 策 計 画 書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	イオンモール株式会社 イオンモール新瑞橋		
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市南区菊住1丁目7-10		
工場等の名称	イオンモール新瑞橋		
工場等の所在地	名古屋市南区菊住1丁目7-10		
業種	不動産業、物品賃貸業		
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店		
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸ししている建築物)		
事業の概要	ショッピングセンターの管理・運営		
計画期間	令和3年4月1日	～	令和6年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	令和3年5月6日 ～ 令和6年3月31日		
公表方法	○	掲 示 閲 覧	(場 所) 1階インフォメーション
		ホ ム ペ ー ジ	(HPアドレス)
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-829-2111		

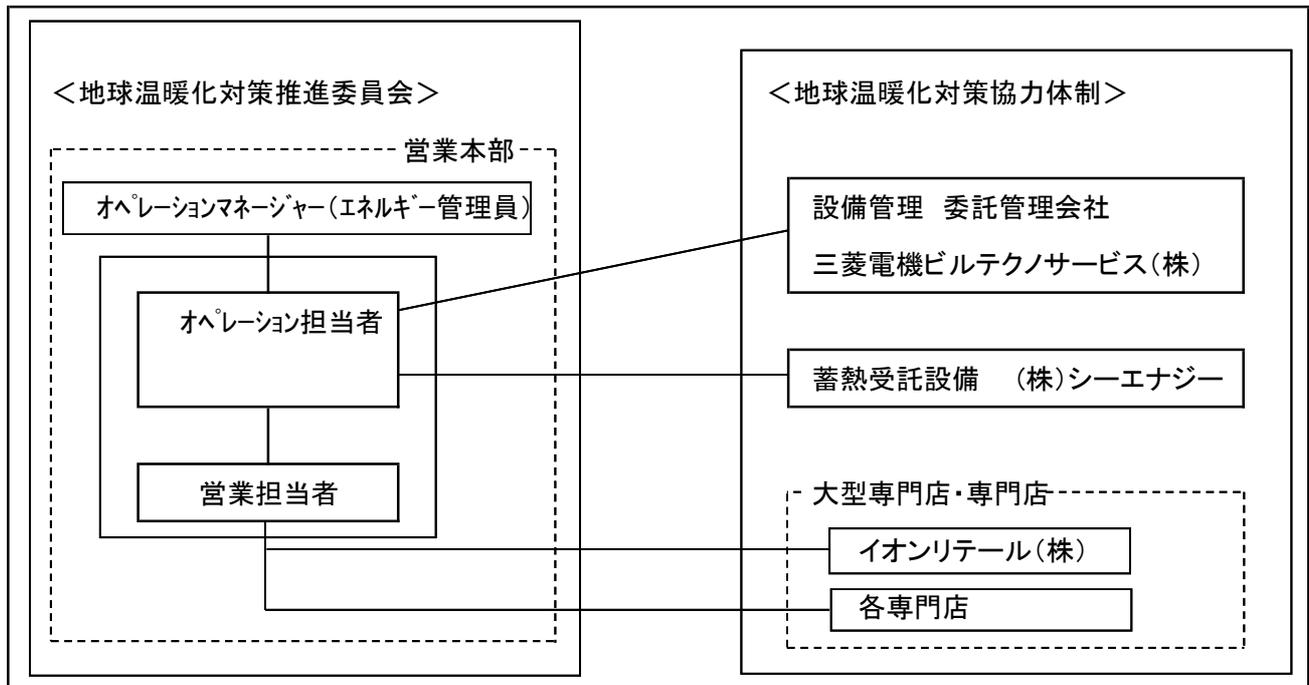
3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社はショッピングセンターの開発・運営・管理を通じて、地域社会の発展に貢献する商業専門デベロッパーとして、地球環境に配慮し事業活動のあらゆる面において、地球環境の保全と改善に努めます。

- ・地球温暖化の防止及び資源の削減、環境負荷の最小化に資するため、エネルギーの管理活動、環境の保全と汚染の予防に継続して取り組みます。
- ・廃棄物の削減と再資源化に取り組みます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和2年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,632	t-CO ₂
①を （温室効果ガス 換算） 排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,632

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度 令和2年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和5年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総排出量	5,632	t-CO ₂	5,463	t-CO ₂	3.0

項目	基準年度 令和2年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和5年度 目標削減率	
	原単位あたりの 排出量		CO ₂		CO ₂	

(2) 目標設定の考え方

1、各年度1%を削減目標とする。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源の推進/照明	<ul style="list-style-type: none"> ・使用時間外は消灯を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフへ左記内容を伝達し、施設全体で取り組む ・チェックリストを設け消し忘れ等を防止する
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・空調機器の熱交換機フィン、ファン洗浄を実施する。 ・使用環境に合わせて随時、温度設定を変更する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗浄に関しては年間計画を立てて、計画的に実施する。 ・空調に関しては、館内温度をチェックしながら調整する。
省エネルギー・省資源の推進/その他	<ul style="list-style-type: none"> ・使用しない時間帯および退社時の不必要機器の電源オフを徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各スタッフへ左記内容を伝達し、施設全体で取り組む ・チェックリストを設け消し忘れ等を防止する

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
2010	太陽光発電	2020年発電実績:48,392kwh

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

①ライトダウンキャンペーンの実施。 ②年に1回のスタッフ向けISO教育の実施。

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

①定時退社 ②後方エレベーターの間引き運転
